

単位:千円

No	調査名	調査概要	H17年度	
			上段:調査費 調査費	下段:国費
1	公共土木施設の有効活用に向けた調査	高度経済成長期に集中的に整備され、本格的な補修・更新時期を迎えている既存公共施設について、ライフサイクルコストの縮減、更新費用の平準化などを図るため、総合的なマネジメントシステムを構築する。	109,500	
				54,750
2	有機系一般廃棄物の循環利用促進に向けた基礎調査	一般廃棄物の中で一定の割合を占める家庭生ごみの処理について、トータルの処理コストを引き下げ、かつ再利用を促進すること等も期待できる家庭生ごみ粉碎器(ディスボージャー)を導入することを目的として、モデル地域における下水道システムの受入能力、施設の改築の必要性、コスト比較、地域住民の導入意向などに関する具体的な調査検討を行う。	19,000	
				9,500
3	バイオマス利活用実態調査	有効活用されていないバイオマスのリサイクルを図るため、建設資材等としての利活用など、異業種間あるいは地域間の連携を促進するために、排出・再利用の実態や既存リサイクル体制の課題等について、排出者及び利活用者に対してアンケート調査を実施し、利活用促進に向けた具体的な方策について検討する。	10,000	
				5,000
4	除雪連携シミュレーション調査	異常降雪時に国、道、市が連携した効果的・効率的な除排雪を実施するため、優先路線の選定や情報共有などの手法など具体的な手法の検討を行うとともに、連携除雪のシミュレーションを踏まえて、問題点や改善点等の検討を行う。 (モデル地区:北見市)	12,500	
				6,250
5	農村における小河川の環境に配慮した整備手法調査	農村地域における小河川の防災対策等について、環境に配慮した整備を行うため、水田なども含めた水面の連続性を確保する手法に関する実証実験等を行い、魚類の生息環境に着目した具体的な整備手法について検討する。 (モデル地区:栗山町八サンベツ地区)	30,000	
				15,000
6	新たな周遊観光ルート形成のための調査	観光入込客数が少ないエリアにおける観光振興を図るため、周辺エリアを含めて当該地域のイメージ、観光資源認知度、満足度などについてアンケート調査を行い、観光資源の磨き上げやドライブ環境の改善、プロモーション手法、新たな周遊観光ルートについて検討する。 (対象地区:根室エリア、日高エリア)	19,000	
				9,500
合計			200,000	
				100,000